

泌尿器科系感染症に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2025 年 8 月 13 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

泌尿器科系感染症における起炎菌の薬剤耐性・病原性と患者臨床背景・転帰の関連性を解明する後ろ向き解析

〔研究目的〕

泌尿器科系感染症は細菌性の感染症が主なものです。感染症を引き起こした際は、抗菌薬投与や外科的処置など治療法も確立していますが、感染症を引き起こす患者様の臨床的背景（病態）と起炎菌の薬剤耐性度および病原性の関連性が不明であり、その関連性は、抗菌薬治療や外科的処置を必要とするかなどの予後に大きく影響することが推測されています。本研究では、当院で泌尿器科系感染症を引き起こした起炎菌の薬剤耐性度および各種病原性を解析し、患者様の臨床背景（病態）との関連性を明らかにすることで、泌尿器科系感染症の治療におけるさらなる改善に役立つ知見を得ることを目的としています。

〔研究意義〕

泌尿器科系感染症を引き起こす起炎菌の特徴が明らかになれば、今後の同様の患者様に対して、有効な抗菌薬治療や外科的処置を早期に実施することができます。重症化につながる因子等を特定できれば、個々の患者様に対してより良い治療戦略を立てることができると考えられます。

〔対象・研究方法〕

2022 年 4 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日までの間に、当院で泌尿器科系感染症と診断を受けた、もしくは治療を実施した患者様が対象です。未成年の患者様は含みません。診療記録から、年齢や性別・基礎疾患、自他覚所見、診療経過、血液尿検査結果等の医学情報を調査し、各種の統計解析を行います。また、検体より分離培養された菌株の抗菌薬感受性や病原性の調査を行います。研究者は帝京大学医学部に所属する者に限られます。過去の診療録や検体由来の菌株の調査をするのみの研究ですので、患者様の生命・健康に直接影響を及ぼすことはありません。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 泌尿器科、帝京大学医学部 微生物学講座

〔個人情報の取り扱い〕

患者様のお名前など個人情報は、誰のものかわからないように加工したうえで研究を行い、その保護には十分に配慮いたします。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。研究終了後、情報を倫理委員会事務局に提出し、帝京大学臨床研究センターにて 10 年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者及び情報管理責任者：帝京大学医学部泌尿器科学講座 教授 重村克巳
住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL 03-3964-1211（代表）